

9

文の組み立て(1)

氏名

クラス

番号

得点

100

1 正しく文節に分けられているものをそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。(3点×3)

- ① ア そよ風が／顔に／当たって／心地よい。
イ そよ風が／顔に／当たって／心地よい。
ウ そよ風が／顔に／当たって／心地よい。
エ そよ風が／顔に／当たって／心地よい。
- ② ア 彼に／言っておく／ことがある。
イ 彼に／言っておく／ことがある。
ウ 彼に／言っておく／ことがある。
エ 彼に／言っておく／ことがある。
- ③ ア 親友とは／助け合う／ものだろう。
イ 親友とは／助け合う／ものだろう。
ウ 親友とは／助け合う／ものだろう。
エ 親友とは／助け合う／ものだろう。

①
②
③

2 次の各文の、I…文節の数と、II…単語の数を、それぞれ算用数字で書きなさい。(2点×8)

- ① 姉は早朝のバスで出発する。
- ② 緩やかなカーブがずっと続く。
- ③ 岩が重くて持ち上がらなかった。
- ④ 枝を切れば日当たりがよくなる。

③	①
I	I
II	II
④	②
I	I
II	II

3 次の——線部の述語に対する主語を抜き出さない。ただし、主語が省略されている場合は△を書きなさい。(3点×3)

- ① 弟が泣いたことにわたしは驚いた。
- ② 僕は母が編んだセーターを着た。
- ③ 彼女に辞書を貸してほしいと言われた。

③	①
	②

4 次の各文の、I…主語と、II…述語を、それぞれ抜き出さない。(3点×10)

- ① 彼女こそ今度の舞台の主役にふさわしい。
- ② 昔、卵は庶民にとって貴重品だった。
- ③ 早朝の教室にはだれもいなかった。
- ④ 父までわたしが旅行へ行くのに反対する。
- ⑤ 僕だってスケートぐらいはできる。

⑤	④	③	②	①
I	I	I	I	I
II	II	II	II	II

5 次の——線部が修飾している文節を抜き出さない。(4点×5)

- ① もし雨が降ったら、試合は延期になる。
- ② 彼はとっくにあきらめたと思っていた。
- ③ 手探りで暗やみを進むと、ドアがあった。
- ④ 五年ぶりに大阪に転校した友人から手紙が届く。
- ⑤ 博物館には珍しくて貴重な資料がたくさんあった。

⑤	③	①
	④	②

6 次の——線部が連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと記号で答えなさい。(4点×4)

- ① 首輪をつけた猫が庭に入ってくる。
- ② 飛行機のチケットを予約する。
- ③ 新たに弥生時代の遺跡が見つかった。
- ④ 楽しい映画でも見に行きたい。

①
②
③
④